

あとがき

編集顧問

糸満盛憲
越智隆弘
荻野利彦
小野啓郎
清水克時
竹光義治
守屋秀繁
富田勝郎
戸山芳昭
山室隆夫
矢部 裕

編集主幹

吉川秀樹
編集委員
金谷文則
菊地臣一
黒坂昌弘
高岸憲二
土屋弘行
内藤正俊
松本守雄
松山幸弘

編集同人

生田義和 澤村誠志
井樋栄二 田辺剛造
岩田 久 田畑四郎
岩本幸英 玉置哲也
大井利夫 中村耕三
小野村敏信 馬場久敏
加藤博之 浜西千秋
金田清志 佛淵孝夫
腰野富久 三笠元彦
紺野慎一 三浦隆行
榊田喜三郎 持田譲治
酒匂 崇 山田治基
桜井 実 吉川靖三

整形外科医にとって5月最大のイベントは日本整形外科学会学術総会です。今年は5月21日から24日までの4日間、神戸市で開催されます。吉川秀樹会長は世界的、未来的な視点からの新たな発見や発明、医療貢献が強く求められている現況を鑑み、「世界へ 未来へ Be innovative!!」をテーマとして掲げられています。時を同じくして国立研究開発法人「日本医療研究開発機構(AMED)」が先月1日に発足しました。従来、基礎研究は文部科学省、臨床研究は厚生労働省、実用化や製品化は経済産業省と縦割りでしたが、AMEDはこれらを効率的で一元的に管理する司令塔としての役割が期待されています。医療分野の技術革新による新産業創出は現政権の成長戦略の柱の一つとしても取り上げられており、今回の第88回日本整形外科学会学術総会は正に時宜に合ったテーマです。

整形外科領域での代表的な技術革新は、関節外科の在り様を一新させた関節鏡です。生みの親は、1931年にご考案なさった東京大学整形外科の高木憲次教授と1935年に渡辺式21号型関節鏡を創出なさった渡辺正毅先生です。現在、膝関節と肩関節の診断系から治療系までを網羅し、他のほとんどすべての関節でも次々と活用されるようになっていきます。惜しむらくは、鏡視下手術の適応を拡大し続けているミニチュア化した道具や新規の手術操作は、主に欧米で開発されているため、大部分の機械器具は海外製品になっていることです。今後、日本版NIHであるAMEDが優れた研究とその成果の実用化を推進し、生まれも育ちも国産の技術革新が続出することを夢見ています。

さて、本号の誌上シンポジウムは第一人者である内田宗志先生の立案による股関節鏡です。先生方6名の論文は歴史の変遷から適応の限界までを網羅したup to dateになっています。「調査報告」では、胃食道逆流症を発症させる非ステロイド性抗炎症薬の長期服用に警鐘を鳴らしています。「境界領域・知っておきたい」には生活習慣病と骨粗鬆症とが互いに他を増悪させるメカニズムの解説があり、整形外科の神髄を伝える歴史や必須の知識である「運動器のサイエンス」も連載中です。「臨床経験」と「症例報告」には診療の現場で役立つエッセンスが満載されています。本誌はB5で厚さ5mm、重さ300グラム前後と嵩張りません。ゴールデンウィークや出張中も肌身離さず日進月歩の整形外科に接していただけたらと思います。(内藤正俊)

臨床整形外科 (第50巻第5号)

2015年5月25日発行(毎月1回25日発行)

定価 本体2,500円+税

2015年 年間購読料(送料弊社負担)

冊子版 28,080円+税

冊子+電子版/個人 33,080円+税

冊子+電子版/共有 37,280円+税

電子版/個人 28,080円+税

電子版/共有 32,280円+税

※2015年より年間購読料は本体価格表示となります。

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinseige>

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 編集室直通 (03)3817-5702(担当:石井・山崎)

販売部直通 (03)3817-5659

ファクシミリ (03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 (株)アイワード 電話 (011)241-9341

広告申込所 (株)医薬広告社 電話 (03)3814-1971

オンライン投稿 ID:rinseige パスワード:rinseige

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2015, Printed in Japan.

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
・本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。

*「臨床整形外科」は株式会社医学書院の登録商標です。